

八頭町総合戦略事業進捗状況一覧(H30年度末時点調べ)

達成状況:○(達成)／△(未達成)

KPI達成率:39/56 = 69.6%
(H27:55.8%、H28:50.9%、H29:62.5%)

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績			
1-1-1	①	大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等	雇用確保 15人(3人/年)	H27	13人	○	町内の農業生産法人において耕作規模の拡大(約85ha)により新しく農業従事者が3名(郡家地域2名、船岡地域1名)、町森林組合において新しく林業従事者が10名の雇用確保が図られた。	9,297,876	鳥取森林整備担い手育成対策事業補助金、林業労働者福祉向上推進事業補助金を活用して、林業従事者の雇用確保を図る。	産業観光課
				H28	5人	○	町内の農業生産法人において、耕作規模の拡大により新しく農業従事者が2名、町森林組合において新しく林業従事者が3名の雇用確保が図られた。	1,170,830		
				H29	3人	○	鳥取森林整備担い手育成総合対策事業費補助金、林業労働者福祉向上推進事業費補助金を活用して、八頭町中央森林組合において林業従事者3名の雇用を確保した。	1,475,052		
				H30	7人	○	鳥取森林整備担い手育成総合対策事業費補助金、林業労働者福祉向上推進事業費補助金を活用して、八頭町中央森林組合において林業従事者7名の雇用を確保した。	1,595,317		
	②	大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等	連携事業従事者数 25人	H27	—	—	—	—	遊休農地を使って、ナマス・ホンモロコ養殖事業を展開。障がい者の就労継続支援B型作業所を立ち上げる。遊休農地を活用したコミュニケーションを展開する。	福祉課
				H28	0人	△	被保護者・生活困窮者の就労支援事業受託事業者が就労支援の一環で、雇用・就労の場を創出する取り組みとして、耕作放棄地等を活用した事業としてナマス・ホンモロコ養殖事業に着手。平成29年度からの事業展開に向けてB型作業所立ち上げの準備を進めたが、年度内の開設には至らず。	—		
				H29	0人	△	ナマス・ホンモロコ養殖事業については、生産・出荷できる段階にきているが、B型作業所として使用(賃貸予定)できる施設がまだ確保できていないため、事業を立ち上げるまでに至っていない。引き続き、物件探しをしているところ。	—		
				H30	0人	△	ナマス・ホンモロコ養殖事業については、生産・出荷できる段階にきているが、B型作業所として使用(賃貸予定)できる施設がまだ確保できていないため、事業を立ち上げるまでに至っていない。引き続き、物件探しをしているところ。 放課後児童デイサービス利用者に対して体験交流の場の提供を行っている。	—		
	1-2 【重点取組】	地場産業の支援や6次産業化による雇用の確保	雇用確保 15人(3人/年)	H27	9人	○	工場増設した事業者等に対して企業立地奨励金の交付と、企業立地奨励金制度、雇用関係助成制度等の紹介・相談対応、有限会社ひよこカンパニーの自社ブランドである「天美卵」を使った卵料理を提供する農家レストラン等の整備を支援することにより、雇用の確保を図った。	101,318,000	6次産業化に取り組む企業、農業者を支援することにより雇用の確保を図る。	産業観光課
				H28	68人	○	有限会社ひよこカンパニーの農家レストラン等の整備(H28年3月完成)の支援や町内事業者の取組により、雇用の確保を図った。	0		
				H29	37人	○	起業家支援補助金による支援、起業相談により雇用の確保を図った。 有限会社田中農場の6次産業化(ピクルス、杓つき餅)による事業拡大の支援により雇用の確保を図った。	13,060		
				H30	35人	○	起業家支援補助金による支援、起業相談により雇用の確保を図った。	—		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-3	農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備	新規就農者 5人(1人/年)	H27	0人	△	県と連携を図り、就農を希望する者の相談の窓口となり、新規就農者の募集を行った。	0	就農を希望する者の相談の窓口となり、県と連携して農業大学校等による農業技術の習得などの職業訓練を実施することで、農業の担い手の人材育成を行う。また、農業次世代人材投資資金等を活用して経営確立に資する。	産業観光課
				H28	1人	○	県と連携を図り、農業大学校による職業訓練の実施と、青年就農給付金事業を活用するなかで、新規就農者1名を育成した。	750,000		
				H29	1人	○	新規就農希望者が先進農家で実践研修を行い農業技術等の習得を図るとともに、農業次世代人材投資資金を活用して営農開始した。	750,000		
				H30	2人	○	新規就農希望者が先進農家で実践研修を行い農業技術等の習得を図るとともに、農業次世代人材投資資金等を活用して営農開始した。	950,000		
	1-4 【重点取組】	果樹栽培の後継者の養成	後継者の養成 5人(1人/年)	H27	1人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を1名養成した。	900,000	果樹優良園維持管理事業を活用して休園となった果樹の優良園を維持管理したり、梨の経営モデル団地の整備により、担い手が農業収入を得やすい環境を整える。	産業観光課
				H28	1人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を1名養成するとともに、果樹優良園維持管理事業により、担い手が農業収入を得やすい環境を確保した。	1,408,296		
				H29	2人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を2名養成するとともに、果樹優良園維持管理事業により、担い手が農業収入を得やすい環境を確保した。	2,702,270		
				H30	1人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を1名養成するとともに、果樹優良園維持管理事業により、担い手が農業収入を得やすい環境を確保した。	4,335,200		
	1-5	鳥獣害対策の促進	新規狩猟免許取得者 15人(3人/年) 防止柵設置延長 5,000m(1,000m/年)	H27	新規狩猟免許取得者 14人/年 防止柵設置延長 1,196m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費や新規猟銃購入者への購入に係る経費助成を行うとともに、国庫事業を活用して侵入防止柵を設置。	3,827,000	若者等への新規参入を図るため、狩猟に係る研修会や講習会等の開催。計画的な侵入防止柵の設置に向けた集落への説明会等の開催。	産業観光課
				H28	新規狩猟免許取得者 1人/年 防止柵設置延長 2,479m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費や新規猟銃購入者への購入に係る経費助成を行うとともに、国庫事業を活用して侵入防止柵を設置。	3,595,000		
				H29	新規狩猟免許取得者 4人/年 防止柵設置延長 16,452m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費助成を行うとともに、国または県事業を活用して侵入防止柵を設置。 新規狩猟免許取得者：累計19名 防止柵設置延長：20,127m	8,581,000		
				H30	新規狩猟免許取得者 1人/年 防止柵設置延長 7,416m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費助成を行うとともに、国または県事業を活用して侵入防止柵を設置。 新規狩猟免許取得者：累計20名 防止柵設置延長：27,543m	54,605		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-6	高校・大学との連携強化(人材の活用)	連携事業数(高校) 2件/年 連携事業数(大学) 3件/年	H27	連携事業数(高校) 3件 連携事業数(大学) 10件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0	高等教育機関等との連携事業の推進を図る。	地方創生室ほか
				H28	連携事業数(高校) 4件 連携事業数(大学) 19件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0		
				H29	連携事業数(高校) 4件 連携事業数(大学) 20件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0		
				H30	連携事業数(高校) 3件 連携事業数(大学) 21件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0		
	1-7	町が必要とする人材の募集	仕事ごとの定住 5件(1件/年)	H27	1件	○	県・町による補助金支援により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	8,572,000	若者定住等集落活性化総合対策事業を活用し若者の定住を促進する。	地方創生室ほか
				H28	2件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	14,043,000		
				H29	5件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	8,000,000		
				H30	1件	○	若者定住等集落活性化総合対策事業を活用し、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	4,368,000		
	1-8 【重点取組】	サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーター創造地域の創設	誘致企業数 5社(1社/年) 利用従業員数 50人/年	H27	0社	△	SBヒューマンキャピタル(株)と委託契約を締結し、マスタープランの策定と誘致検討企業への先行的な働きかけを実施。進出検討企業の視察件数8社(指標値:8社)の実績により目標を達成。	10,000,000	拠点施設の運営等について、町、地域及び運営会社で連携を図り、地域振興に資する取組を進める。	地方創生室
				H28	0社	△	委託契約を継続し、マスタープランの推進と誘致検討企業への先行的な働きかけを引き続き実施。拠点施設となる集Lab.の整備と運営等について、具体的な検討を進める。※H29.4 入居予定企業等7社が出資する(株)シーセブンハブサが設立。	9,434,000		
				H29	11社	○	委託契約を継続し、マスタープランの推進と誘致検討企業への先行的な働きかけを引き続き行うとともに、拠点施設となる集Lab.を整備。	179,323,140		
				H30	14件	○	委託契約を継続し、新規事業の提案を受け、検討を行った。	6,000,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI		各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課
					KPI実績	達成状況	内容	実績	内容	
	1-9	鳥取県や他市町と連携した企業誘致の促進	誘致企業数(東部圏域のうち八頭町内) 5社 (1社/年)	H27	0社	△	八頭町内のみならず、鳥取県東部圏域への企業誘致を促進するため、鳥取県や他市町との情報交換、情報共有を実施。企業から問い合わせが複数、具体的な交渉を進めた案件があったものの、条件面等が合わず、誘致企業数は0件。	0	企業誘致には単年で誘致となる案件はまれであり、他市町・町関西事務所とも連携を図り、誘致を進めるべく、情報交換・情報発信を行う。	産業観光課
				H28	0社	△	八頭町内のみならず、鳥取県東部圏域への企業誘致を促進するため、鳥取県や他市町との情報交換、情報共有を実施。企業から問い合わせが複数、具体的な交渉を進めた案件があったものの、条件面等が合わず、誘致企業数は0件。	0		
				H29	2社	○	県外から1社、鳥取市から1社の誘致を進めた。	0		
				H30	2社	○	県外から2社の誘致を進めた。	0		
	1-10	誘致企業や新規進出企業、起業に対する支援策の充実	誘致企業数 5社(1社/年) 新規起業数 5社(1社/年)	H27	誘致企業数 0社 新規起業数 4社	△	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施。	1,522,000	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施する。	産業観光課
				H28	誘致企業数 0社 新規起業数 1社	△	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施。	1,318,000		
				H29	誘致企業数 2社 新規起業数 4社	○	起業家支援補助金等による支援、町・商工会等で起業に対する相談対応を実施。	2,762,000		
				H30	誘致企業数 2社 新規起業数 8社	○	起業家支援補助金等による支援、町・商工会等で起業に対する相談対応を実施。	7,182		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
	1-11 【重点取組】	若桜鉄道等を活用した観光振興	若桜鉄道乗客数 410,000人/年	H27	325,191人	△	若桜鉄道の車両の観光仕様化に係るデザインコンセプト料及び観光事業化のための必要な施設整備に関する費用便益分析調査に対する補助を行った。SUZUKIとの連携による集ラッピング列車を運行するとともに、水戸岡氏による観光列車デザイン(3車両)を決定した。	5,489,000	若桜鉄道に3両目となる観光列車を導入する(最終年度)。併せて3両目となる観光列車運行に向けたツアー造成やグッズ製作等を行い観光客誘致に取組むとともに、CM制作やイベント開催等を通じて若桜鉄道のPR活動も行う。 また、高校生通学定期半額助成を継続実施し、利用者の確保対策と安定した収入確保に向けた取組みを一体的に実施する。	企画課
H28				310,361人	△	若桜鉄道の車両について、27年度に決定した観光仕様化に係るデザインコンセプトに基づく設計及び内装品の整備(3両分)を実施。その他、観光車両関連グッズの制作や沿線活性化イベントを開催。12/3~4に実施した読売旅行とのタイアップツアーでは、2日間で約1,000名の誘致に成功した。高校生通学定期半額助成では、延355名からの申請があった(昨年度比延235名増)	41,248,945			
H29				325,597人	△	若桜鉄道の鉄道施設及び車両の保守管理を着実に実施するとともに、若桜鉄道の車両改修を行い、観光列車「昭和」としてH30.3.4から1次車の運行を開始。「昭和」の運行に向けては、観光ツアー商品の造成、「昭和」オリジナルグッズ(第2弾)の製作及び沿線のおもてなし環境整備に取り組んだ。なお、観光ツアーにおいては、3月4日の運行開始を皮切りに既に上期の9月末までは旅行会社の予約で埋まる人気ぶりで、観光客誘致への「昭和」効果が着実に生まれている。また、12/2~3に実施した読売旅行とのタイアップツアーでは、2日間で864名の誘致に成功した。その他、高校生通学定期半額助成では、延388名(昨年度比33名増)の高校生に助成を行った。	23,462,126			
H30				350,881人	△	【観光列車の導入】 ・第1弾の「昭和」に続き、水戸岡鋭治氏デザインにより若桜鉄道の車両を「八頭号」として改装。第2弾目の観光列車として、H31.3.2から運行開始した。 【ツアー造成】 ・7月には観光列車ツアー客が1000人を超え、年間で3000人余りの観光客誘致に成功。「八頭号」の運行に向けて造成した2019年上期分のツアーも、8月までは予約で埋まっている。 ・読売旅行とのタイアップ企画として催行した若桜谷の観光地を鉄道とバスで巡るツアーでは、615人の誘致に成功した。 【観光列車PR】 ・「八頭号」オリジナルグッズを製作 ・観光列車PR動画作成やばんばひろふみ氏に若桜鉄道広報大使に就任していただき、ばんばひろふみ氏には出演のラジオ番組を通して若桜鉄道をPRしていただく等、若桜鉄道の知名度向上に取り組んだ。 ・観光列車運行演出に磨きをかけるため、因幡船岡駅について、トイレを男女別化したほか、水戸岡先生監修のもと、昭和レトロ調に改修した。 【高校生通学定期半額助成】 若桜鉄道利用促進実行委員会と連携し、若桜鉄道を通学に利用する高校生延348名に対し、通学定期半額助成を実施した。	25,796,865			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課			
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容				
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-12	消費者のニーズを踏まえたマーケットイン型の観光商品の開発	観光商品数 15件	H27	1件	△	若桜・八頭エリアで民間委員等によるミーティングを行い観光商品の基礎調査、素案作りを実施。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について基礎調査を実施するとともに、Gバスなど圏域を巡る周遊観光ルートの創出を図った。	1,619,000	地域発観光商品開発プロジェクトとして若桜・八頭エリアで行った観光商品素案について、ブラッシュアップ及び試行を実施。若桜鉄道沿線及び周辺観光資源の商品化に向けた取組を実施。	産業観光課ほか		
				H28	3件	△	若桜・八頭エリアで民間委員等によるミーティングを行い、観光商品の開発を試行。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について基礎調査を実施するとともに、Gバスなど圏域を巡る周遊観光ルートの創出を図った。12/3～4には読売旅行とのタイアップツアーを実施。				2,852,000	
				H29	8件	△	若桜・八頭エリアで観光商品の開発を行う実行委員会を立ち上げ、商品の具体化を検討。累計12商品を開発。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について、Gバスなど圏域を巡る周遊観光ルートを継続実施。12/2,3には読売旅行とのタイアップツアーを実施。観光協会によるやずみSL博物館への集客を図るイベントやウォーキングの開催。					1,727,000
				H30	6件	△	若桜・八頭エリアで観光商品の開発を行う実行委員会を立ち上げ、商品の具体化を検討。累計12商品を開発。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について、圏域を巡る周遊観光ルートの策定を継続実施。船岡竹林公園やミニSL博物館における意匠を主催したほか、12/12には読売旅行とのタイアップツアーを実施。3/30には若桜鉄道観光列車「八頭号」を活用し、八頭町・若桜町を横断するツアーイベントを実施。				1,827,000	
	1-13	八頭町をイメージアップする情報発信の強化	ホームページアクセス数 300,000件/年 (H27:150,000件/年)	H27	183,946件	○	八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、随時、情報を更新しデザインを見直すなど魅力的なホームページによる情報発信を行った。	761,000			今後も魅力あるホームページを目指し、イメージ動画等を活用して、これからの地方創生への取り組みを広く全国に発信し、本町のさらなる知名度向上を図る。	企画課
				H28	207,166件	△	本町の取り組み等を積極的に情報発信するためのイメージ動画を作成し、ウェブサイトを通じて全国に向けて発信した。	16,530,265				
				H29	234,729件	△	八頭町の自然や観光スポットで開催したラップフェス「Torihada(トリハダ)」の様相を収録した八頭町CM第二弾を製作し、SNSやケーブルテレビ、県外放送局を活用し広く町のPR,取り組みについて情報発信を行った。また、フェスに出演したアーティストのサイト、SNSで広い分野に情報発信を行った。	10,182,060				
				H30	300,284件	○	八頭町の隠れた魅力や観光資源、食材等にスポットを当て、八頭町を会場に開催された「DININGOUT TOTTORI-YAZU」に携わった人々の成長や軌跡をPR動画として作成し、SNSやケーブルテレビ、関連企業のメディアを通じて発信した。	8,909,000				

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
	2-1-①	若者の交流、社交の場の確保(空き施設等利用)	<H27> イベント回数 8回 参加者数 400人 <H28> イベント回数 9回 参加者数 450人 <H29> イベント回数 10回 参加者数 500人 <H30> イベント回数 11回 参加者数 550人 <H31> イベント回数 12回 参加者数 600人	H27	イベント回数 10回 参加者 403人	○	空き施設等を利用して若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体等に対して、補助金制度等の個別説明・相談対応を実施。	0	継続して交流イベントを企画するとともに、イベントを開催しようとする団体の活動等に対して、県・町の補助金により支援を行う。 【みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業・魅力ある地域づくり推進事業等】	企画課ほか
				H28	イベント回数 19件 参加者 335人	△	若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体への支援を実施。	1,241,905		
				H29	イベント回数 37件 参加者 787人	○	若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体への支援を実施。	900,000		
				H30	イベント回数 90件 参加者 5,914人	○	隼Lab.等で若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体への支援を実施。	230,000		
	2-1-②	若者の交流、社交の場の確保(空き施設等利用)	青年団発足 1団体/リーダー養成 15人(3人/年)	H27	青年団設立 1団体/13人	○	活動休止中であった青年団を再設立し、リーダーの確保と育成を図った。	0	青年団活動再開に向けリーダーの発掘を行う。	社会教育課
				H28	青年団 1団体/13人	○	八頭町きらめき祭でバザーを出店する等、少しずつ活動を始めている。補助金による活動支援を図った。	50,000		
				H29	青年団 1団体/8人	○	町や地域のイベントへの出展や県連合青年団事業への参加等の活動を実施し、これらに対する補助金による活動支援を図った。しかしながら、現団員それぞれが多忙となるなど活動が困難となり、年度末で活動休止となった。	80,710		
				H30	青年団 0団体/0人	△	青年団活動再開に向け人材発掘・育成に努めた。	0		
	2-2-①	まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催	魅力あるまちづくり事業 5事業/年	H27	6事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進した。	716,000	魅力ある地域づくり事業として、地域振興に寄与する取組に対する助成事業を継続する。	企画課
				H28	7事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進した。	855,000		
				H29	6事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進。	943,000		
				H30	6事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進。	909,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI		各年度の取組・実績等			31年度以降の取組方針	担当課	
					KPI実績	達成状況	内容	実績		内容
2. 結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備	2-2-②	まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催	婚活事業 3事業/年	H27	4事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施した。(町単独で2回、他市町との合同で2回実施)	466,000	町単独のイベントと他市町との合同イベントを実施し、結婚のきっかけづくりとなる事業について継続して取り組む。	企画課
				H28	5事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施した。(町単独で3回、他市町との合同で2回実施)	483,601		
				H29	4事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施。(町単独で2回、他市町との合同で2回実施)	437,924		
				H30	4事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施。(町単独で3回、他市町との合同で1回実施)	790,000		
2-3	不妊治療の支援の実施	希望者の申請により助成を実施	希望者の申請により助成を実施	H27	継続申請者(4人)、新規申請者(11人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	1,425,000	不妊治療の経済的負担を軽減するため、継続して実施する。	保健課
				H28	継続申請者(11人)、新規申請者(7人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	1,685,101		
				H29	継続申請者(5人)、新規申請者(5人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	608,900		
				H30	継続申請者(20人)、新規申請者(8人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	849,066		
2-4	男性の子育てへの参画の推進	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24社	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24社	H27	16社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催した。	227,000	父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催する。	男女共同参画センター
				H28	17社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催した。	222,000		
				H29	18社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催。	279,045		
				H30	22社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催。	213,788		
2-5	子どものための絵本等の充実	絵本 450冊/年 児童書 450冊/年	絵本 450冊/年 児童書 450冊/年	H27	絵本 360冊 児童書 530冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、絵本等の充実を図った。平成27年度は、学校配付図書について中学年向きの児童書を重点的に整備した。	1,243,000	子どもの読書活動の推進について、図書館が中心的な役割を果たすべく絵本等の充実を図る。	図書館
				H28	絵本 474冊 児童書 372冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、平成28年度は、絵本等の充実を図った。	1,361,000		
				H29	絵本 348冊 児童書 435冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、絵本等の充実を図った。	1,159,091		
				H30	絵本 309冊 児童書 316冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、絵本等の充実を図った。	873,439		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI		各年度の取組・実績等			31年度以降の取組方針	担当課	
					KPI実績	達成状況	内容	実績		内容
	2-6	保育料の軽減の拡充	出生数140人/年	H27	73人	△	第3子以降の保育料無償化を実施。	100,971,000	第2子以降の保育料を無償化し子育て世代の支援拡充を図る。	町民課
				H28	97人	△	第2子以降の保育料無償化を実施。	104,231,000		
				H29	89人	△	第2子以降の保育料無償化を実施。	101,358,000		
				H30	87人	△	第2子以降の保育料無償化を実施。	101,923,910		
	2-7 【重点取組】	子育て中の親が情報を共有できる場、安心して働ける環境の拡充	3歳未満の子どもの数に対する支援センター登録者数 : 45% 放課後児童クラブの利用者数: 140人/年 ファミリーサポートセンター依頼会員に対する支援会員の割合: 30%	H27	登録者数 39% 利用者数 126人/年 会員割合 29%	△	子育て支援センターを1ヶ所に拠点化するとともに、検診等を活用しPR、育児相談などを行った。放課後児童クラブについては、4年生以上の受け入れ態勢、利用料金等について検討。ファミリーサポートセンターについては、子育て支援センターと併設し、連携した子育て支援を行った。	30,094,000	子育て支援センターのPR、育児相談などの活動を継続して行う。また、放課後児童クラブの整備による受け入れ児童の拡大を図るとともに、放課後子ども教室事業との連携について関係課と協議。ファミリーサポートセンターについては、支援会員確保のためのPR活動を行う。	町民課
				H28	登録者数 44% 利用者数 161人/年 会員割合 29%	△	子育て支援センターでは、検診等を活用した事業PR、育児相談などを継続実施。ファミリーサポートセンターでは依頼会員増により、安定したサービス提供を図るため支援会員の増に努めている。また子育て支援センターと共同イベント等を開催。放課後児童クラブでは既存クラブ(一部)で5年生受入。夏季児童クラブでは、全町対象に4年生までを対象に実施し利用料も減額した。	30,209,000		
				H29	登録者数 64% 利用者数 159人/年 会員割合 29%	△	子育て支援センターでは、検診等を活用した事業PR、育児相談などを継続実施。ファミリーサポートセンターでは依頼会員増により、安定したサービス提供を図るため支援会員の増に努めている。また子育て支援センターと共同イベント等を開催。放課後児童クラブでは小学校に就学している子どもを対象に受入を行っている。	32,428,000		
				H30	登録者数 66% 利用者数 161人/年 会員割合 28%	△	子育て支援センターでは、検診等を活用した事業PR、育児相談などを継続実施。ファミリーサポートセンターでは依頼会員増により、安定したサービス提供を図るため支援会員の増に努めている。また子育て支援センターと共同イベント等を開催。放課後児童クラブの整備による受け入れ児童の拡大を図った。	108,092,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
2. 結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備	2-8 【重点取組】	保育施設の環境整備	保育所での多様なサービスの実施	H27	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の地質調査、基本設計業務及び実施設計業務を行った。平成27年度に新規開所した郡家東保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施している。	59,598,000	病後児保育や土曜午後保育など保育サービスの多様化を継続実施すると共に、八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設を行う。	町民課
				H28	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の新築のため実施設計業務及び工事発注を行った。なお新保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施。	735,931,000		
				H29	保育所での多様なサービスの実施	○	鳥取市と連携し、病児保育事業の実施や八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設に係る実施設計等を行った。	27,085,000		
				H30	保育所での多様なサービスの実施	○	鳥取市と連携し、病児保育事業の実施や八東地域の3保育所を統合した新保育所を建設した。	714,941,586		
	2-9	仕事と育児・介護とが両立できる企業の普及啓発	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24社	H27	16社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の説明や男女共同参画に関する啓発等を図る。	男女共同参画センター
				H28	17社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0		
				H29	18社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0		
				H30	22社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0		
	2-10	義務教育施設の整備・充実	再編後の小学校数 4校	H27	8校	○	新小学校の校名・校章・校歌・通学方法を決定。また、新八東小学校改修に係る設計業務を行った。	8,910,000	小学校統合終了	学校教育課
				H28	8校	○	新八東小学校の改修及び新船岡小学校の改修を実施。また、統合に伴い必要物品等の運搬及び購入を実施。	435,073,000		
				H29	4校	○	新生『船岡小学校』、新生『八東小学校』を開校し、郡家東小学校、郡家西小学校の4校としてスタート。	0		
				H30	4校	○	町内4小学校でスタートして2年目。	0		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
基本戦略	2-11 【重点取組】	小中学校における少人数 学級への取組	1学級小学校30人以下、中学校33人以下	H27	1学級小学校30人以下、中 学校33人以下	○	郡家東小学校4年生、5年生、6年生と八頭 中学校3年生で町基準で学級編制を実施。	16,000,000	郡家東小学校3年生、5年生、6年生と八東 小学校6年生及び八頭中学校2年生、3年 生で町基準で学級編制を実施予定。	学校教育課
				H28	1学級小学校30人以下、中 学校33人以下	○	郡家東小学校3年生、4年生、5年生、6年 生と郡家西小学校3年生及び八頭中学校 2年生で町基準で学級編制を実施。	21,000,000		
				H29	1学級小学校30人以下、中学 校33人以下	○	郡家東小学校4年生、5年生、6年生と郡家 西小学校3年生、八東小学校5年生及び八 頭中学校2年生、3年生で町基準で学級編 成を実施。	20,000,000		
				H30	1学級小学校30人以下、中学 校33人以下	○	郡家東小学校3年生、5年生、6年生と郡家 西小学校4年生、八東小学校6年生及び八 頭中学校2年生、3年生で町基準で学級編 成を実施。	21,000,000		
	2-12 【重点取組】	ICTを活用した授業の充実	各校でのICT授業の実施	H27	各校でのICT授業の実施	○	八頭中学校特別教室への大型ディスプレイ3 台導入。各校でのICT授業の充実に努め た。	1,394,000	児童生徒用タブレットPCを3小学校に30 台、中学校に30台、特別支援学級児童生 徒用のiPadを4小学校に16台、中学校に 29台新規導入し小中学校における授業改 善を推進する。	学校教育課
				H28	各校でのICT授業の実施	○	大型ディスプレイとタブレット型PCを計42セットを 新規購入し、各校でのICTを活用した授業 を実施。	2,995,000		
				H29	各校でのICT授業の実施	○	大型ディスプレイ31台とタブレット型PC48台を新 規購入し、小中学校における授業改善を 推進。	2,684,556		
				H30	各校でのICT授業の実施	○	船岡小学校にタブレット型PC15台と八東小 学校にタブレット型PCを20台を新規購入し、 小中学校における授業改善を推進。	25,310,600		
	2-13	学校給食におけるアレルギー 対応食の充実	保護者の申請によりアレルギー 対応給食を提供	H27	小学校 25人／中学校 13 人	○	代替食材を使用して別調理等で提供し た。	0	学校や保護者との連携を密にし、今後も 個々の症状に合わせたアレルギー対応食の 提供に努める。	学校教育課 学校給食共同調理場
				H28	小学校 26人／中学校 10 人	○	代替食材を使用して別調理等で提供し た。	0		
				H29	小学校 21人／中学校 17 人	○	代替食材を使用して別調理等で提供し た。	0		
				H30	小学校 25人／中学校 14 人	○	代替食材を使用して別調理等で提供し た。	0		
3-1	鳥取市のベクトル化を促 進するための道路や宅地 等の整備	宅地造成 74戸	H27	7戸	△	民間企業による宅地造成事業に対する補 助事業を整備し推進を図った。	0	申請の実績により予算措置を行い、民間 企業の宅地造成事業に伴う補助金により 宅地造成の推進を行う。	建設課	
			H28	0戸	△	民間企業による宅地造成事業に対する補 助事業を整備し推進を図った。 ※平成29年度当初には37区画完成予定。	0			
			H29	39戸	○	民間企業による宅地造成事業に対する補 助事業を実施し推進を図った。累計83戸 整備済み。	8,446,200			
			H30	18戸	○	民間企業による宅地造成事業に対する補 助事業を実施し推進を図った。累計101戸 整備済み。	3,719,000			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
3. まちへの人の流れをつくる	3-2	公共交通体制の見直し	公共交通網形成計画の策定(平成28年度)	H27	未策定	△	若桜鉄道(株)の継続的な事業運営を支援するための運行支援補助を行うとともに、安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設の保守管理を若桜鉄道(株)へ委託して行う。また、若桜鉄道(株)の経営改善を図るため、鉄道事業再構築事業の見直しを行った。	130,906,000	若桜鉄道の安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設及び車両について保守管理を着実にを行うとともに、鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づく事業実施を進める。	企画課
				H28	策定済	○	若桜鉄道の安全かつ安定した運行維持を図るため、鉄道施設及び車両の保守管理について、着実に実施した。平成28年3月に鳥取県東部地域公共交通網形成計画を策定。次期鉄道事業再構築実施計画の策定では、関係機関と鋭意策定作業を進めている。	131,760,159		
				H29	策定済	○	平成29年3月に策定した鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づき、若桜鉄道の収支均衡と安全で安定した運行を確保するため、鉄道施設の保守管理を着実に実施するとともに、鉄道利用者の利便性向上を図るため、八東駅への行き違い施設整備に着手。	195,214,659		
				H30	策定済	○	平成29年3月に策定した鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づき、若桜鉄道の収支均衡と安全で安定した運行を確保するため、鉄道施設の保守管理を着実に実施するとともに、鉄道利用者の利便性向上を図るため、八東駅に行き違い施設を整備中。	235,508,093		
	3-3	八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】	ホームページアクセス数 300,000件/年 (H27・28:150,000件/年)	H27	183,946件	○	八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、随時、情報を更新しデザインを見直すなど魅力的なホームページによる情報発信を行った。	761,000	今後も魅力あるホームページを目指し、イメージ動画等を活用して、これからの地方創生への取り組みを広く全国に発信し、本町のさらなる知名度向上を図る。	企画課
				H28	207,166件	△	本町の取り組み等を積極的に情報発信するためのイメージ動画を作成し、ウェブサイトを通じ全国に向けて発信した。	16,530,265		
				H29	234,729件	△	八頭町の自然や観光スポットで開催したラップフェス「Torihada(トリハダ)」の様相を収録した八頭町CM第二弾を製作し、SNSやケーブルテレビ、県外放送局を活用し広く町のPR,取り組みについて情報発信を行った。また、フェスに出演したアーティストのサイト、SNSで広い分野に情報発信を行った。	10,182,060		
				H30	300,284件	○	八頭町の隠れた魅力や観光資源、食材等にスポットを当て、八頭町を会場に開催された「DININGOUT TOTTORI-YAZU」に携わった人々の成長や軌跡をPR動画として作成し、SNSやケーブルテレビ、関連企業のメディアを通じて発信した。	8,909,000		
	3-4	鳥取県東部市町が連携して実施する移住定住の促進	圏域外からの転入者数 3世帯/年	H27	2世帯	△	東部市町と連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	318,000	東部市町と連携し、首都圏等での移住定住相談会においてPRを継続して実施する。	地方創生室
				H28	2世帯	△	東部市町と連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	686,682		
				H29	4世帯	○	東部市町と連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	399,671		
				H30	3世帯	○	東部市町と連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	410,606		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
	3-5-①	IJUターナーの獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築	移住者受入50世帯/就労支援数15人	H27	移住者受入 46世帯 就労支援数 0人	△	首都圏等での移住相談会への出展のほか、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。	4,822,000	首都圏等での移住相談会へ出展のほか、相談者に合わせた案内や実際の移住に向けたサポートを移住定住センターの専門スタッフ等と連携して実施する。	地方創生室
				H28	移住者受入 39世帯 就労支援数 0人	△	首都圏等での移住相談会への出展のほか、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。 ※ H28転入者数 39世帯 48人	8,000,000		
				H29	移住者受入 28世帯 就労支援数 0人	△	首都圏等での移住相談会への出展のほか、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。 ※ H29転入者数 28世帯 51人	8,000,000		
				H30	移住者受入 33世帯 就労支援数 0人	△	とっとり暮らしアドバイザー等と連携して首都圏等での移住相談会へ出展したほか、隼Lab.内に移住定住センターを設置し、専門的な相談対応を行った。 ※ H30転入者数 33世帯 55人	3,340,852		
	3-5-②	IJUターナーの獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築	お試し住宅の整備3箇所	H27	—	—	おためし住宅の確保について検討。	0	空き施設を活用し、お試し住宅を整備する。	地方創生室
				H28	0箇所	△	おためし住宅の整備に向け、具体的な調整を図る。	0		
				H29	0箇所	△	空き家を活用したおためし住宅整備を検討。	0		
				H30	0箇所	△	空き家を活用したおためし住宅整備を検討。	0		
	3-6	都市部との交流の促進	都市部との新規交流 5件(1件/年)	H27	2件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。都市部と鳥取をつなげる取組として、東京都内でワークショップや交流会を開催した。【移住者受入地域づくり事業】	4,822,000	移住定住支援業務を委託するまちづくり事業会社(株式会社シーゼンハヤブサ)と連携し、取り組みを推進する。	地方創生室
				H28	3件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。都市部と鳥取をつなげる取組として、東京都内でワークショップや交流会を開催した。【移住者受入地域づくり事業】	8,000,000		
				H29	9件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行った。都市部と鳥取をつなげる取組として、大阪・東京でワークショップや交流会を開催した。【移住者受入地域づくり事業】	8,000,000		
				H30	1件	○	東京都内のコワーキングスペースを中心に、都市部の移住検討者を対象としたPRイベントを実施。	3,340,852		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
3. まちへの人の流れをつくる	3-7-①	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	移住受入 50世帯/年	H27	46世帯	△	移住定住相談員(1名)を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行う。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。	1,346,000	移住定住支援業務、移住定住ホームページ作成業務をまちづくり事業会社(株式会社シーセブンハヤブサ)に委託し、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行うとともに、空き家登録制度について積極的に広報し、登録バンクの充実を図る。	地方創生室
				H28	39世帯	△	移住定住相談員(1名)を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行う。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。	5,578,025		
				H29	28世帯	△	移住定住相談員を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行う。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。 ※ H29転入者数 28世帯 51人	4,921,524		
				H30	33世帯	△	移住定住相談員を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行った。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。 ※ H30転入者数 33世帯 55人	4,523,232		
	3-7-②	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	新築家屋 100棟 (20棟/年)	H27	25件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を行った。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助)	907,000	補助予定件数:95件(継続61件、新規34件)	税務課
				H28	27件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を実施。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助) 実施数:52件	1,711,700		
				H29	30件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を行った。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助) 実施数:累計82件	2,575,200		
				H30	31件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を行った。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助) 実施数:累計87件	2,550,900		
	3-7-③	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	リフォーム助成件数 20件/年	H27	—	—	リフォーム助成制度の創設について検討。	0	助成制度は戦略期間中(令和2年度まで)とし、重点的に取り組む。	地方創生室
				H28	18件	△	移住定住促進と域内経済の活性化を目的としたリフォーム助成制度を創設し推進。	5,400,000		
				H29	10件	△	移住定住促進と域内経済の活性化を目的としたリフォーム助成制度を創設し推進。	3,000,000		
				H30	14件	△	移住定住促進と域内経済の活性化を目的としたリフォーム助成制度の要件を見直して推進。	4,102,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI		各年度の取組・実績等			31年度以降の取組方針	担当課	
					KPI実績	達成状況	内容	実績		内容
3-8	農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備【再掲】	新規就農者 5人(1人/年)	H27	0人	△	県と連携を図り、就農を希望する者の相談の窓口となり、新規就農者の募集を行った。	0	就農を希望する者の相談の窓口となり、県と連携して農業大学校等による農業技術の習得などの職業訓練を実施することで、農業の担い手の人材育成を行う。また、農業次世代人材投資資金等を活用して経営確立に資する。	産業観光課	
			H28	1人	○	県と連携を図り、農業大学校による職業訓練の実施と、青年就農給付金事業を活用するなかで、新規就農者1名を育成した。	750,000			
			H29	1人	○	新規就農希望者が先進農家で実践研修を行い農業技術等の習得を図るとともに、農業次世代人材投資資金を活用して営農開始した。	750,000			
			H30	2人	○	新規就農希望者が先進農家で実践研修を行い農業技術等の習得を図るとともに、農業次世代人材投資資金等を活用して営農開始した。	950,000			
	3-9	町が必要とする人材の募集【再掲】	仕事ごとの定住 5件(1件/年)	H27	1件	○	県・町による補助金支援により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	8,572,000	若者定住等集落活性化総合対策事業を活用し若者の定住を促進する。	地方創生室ほか
				H28	2件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	14,043,000		
				H29	5件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワケニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	8,000,000		
				H30	1件	○	若者定住等集落活性化総合対策事業を活用し、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	4,368,000		
4-1	八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】	ホームページアクセス数 300,000件/年 (H27・28:150,000件/年)	H27	183,946件	○	八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、随時、情報を更新しデザインを見直すなど魅力的なホームページによる情報発信を行った。	761,000	今後も魅力あるホームページを目指し、イメージ動画等を活用して、これからの地方創生への取り組みを広く全国に発信し、本町のさらなる知名度向上を図る。	企画課	
			H28	207,166件	△	本町の取り組み等を積極的に情報発信するためのイメージ動画を作成し、ウェブサイトを通じ全国に向けて発信した。	16,530,265			
			H29	234,729件	△	八頭町の自然や観光スポットで開催したラップフェス「Torihada(トリハダ)」の様相を収録した八頭町CM第二弾を製作し、SNSやケーブルテレビ、県外放送局を活用し広く町のPR,取り組みについて情報発信を行った。また、フェスに出演したアーティストのサイト、SNSで広い分野に情報発信を行った。	10,182,060			
			H30	300,284件	○	八頭町の隠れた魅力や観光資源、食材等にスポットを当て、八頭町を会場に開催された「DININGOUT TOTTORI-YAZU」に携わった人々の成長や軌跡をPR動画として作成し、SNSやケーブルテレビ、関連企業のメディアを通じて発信した。	8,909,000			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
4. 将来にわたり暮らし続けることができる環境をつくる	4-2	八頭町まるごとスポーツパーク構想	キャンプ地誘致 1か国	H27	0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて関係団体と協議を行った。	0	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて関係団体と連携を取りながら進める。	社会教育課
				H28	0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて県及び関係団体と協議を行い準備を進めている。	0		
				H29	0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて県及び関係団体と協議を行い準備を進めている。特にニュージーラントチーム関係者に接触し交渉を進めている。	0		
				H30	0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて県及び関係団体と協議を行い準備を進めている。特にニュージーラントチーム関係者に接触し交渉を進めている。	0		
	4-3	積極的なイベントの開催・支援	イベント支援数(観光協会) H27 11件 H28 12件 H29 13件 H30 14件 H31 15件	H27	12件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	8,942,000	観光協会に対して支援・連携を行い、イベントの開催を図る。	産業観光課
				H28	17件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	14,634,000		
				H29	22件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	14,126,246		
				H30	19件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	14,112,635		
	4-4	町民健康食育モニタリングの実施	参加者数 80人/年	H27	0人	—	内部協議を行い、大学等との連携を視野に入れた事業展開に向けて検討した。	0	事業効果が不明確なため事業を中止。	保健課
				H28	0人	△	実施に向け協議した結果、明確な事業効果が期待できないため、平成29年度の事業は中止とした。	0		
				H29	—	—	事業効果が不明確なため事業を中止。	0		
				H30	—	—	事業効果が不明確なため事業を中止。	0		
	4-5	特色ある地域活性化の拠点施設の整備	空き施設の活用 5件(1件/年)	H27	2件	○	公共施設の適正な配置及び管理を行うため、施設の現状や課題を把握し今後の公共施設のあり方を検討するため公共施設白書を作成した。地域福祉拠点施設として旧大御門・下私都保育所の整備など空き施設の活用を図った。	0	公共施設等のあり方検討委員会の報告及び八頭町公共施設等総合管理計画の方針に沿った利活用に努め、旧保育所の整備、旧小学校の転用整備など活用を図る。	総務課ほか
				H28	3件	○	公共施設等のあり方検討委員会により再編及び有効活用等を検討。地域福祉拠点施設として旧中私都・たから保育所の整備、旧八東中学校の小学校への転用整備など活用を図った。	115,000		
				H29	3件	○	公共施設等のあり方検討委員会の報告及び八頭町公共施設等総合管理計画の方針に沿った利活用に努め、旧大江保育所・旧隼保育所・旧隼小学校の転用整備など活用を図った。	24,415,560		
				H30	2件	○	公共施設等のあり方検討委員会の報告及び八頭町公共施設等総合管理計画の方針に沿った利活用に努め、旧大江小学校・旧船岡中学校の転用整備など活用を図った。	0		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
基本戦略	4-6	地域おこし協力隊による地域の活性化	派遣隊員 6人/年	H27	7人	○	協力隊の任期終了に伴う新規採用により、計7人を確保。派遣集落において活性化に係る取組みを実施した。任期終了後の協力隊員2名は、引き続き定住。	27,755,000	受入に前向きな集落へ地域おこし協力隊の派遣を行い、集落の活性化を図るとともに、任期終了後の地元定着について支援する。	産業観光課
				H28	6人	○	1名の協力隊の任期終了により6名となる。多くの人々と係わりながらそれぞれの活動をおして地域の活性化に係る取組みを実施した。任期終了後の協力隊は引き続き定住。	27,476,000		
				H29	4人	△	2名の協力隊の任期終了により4名となる。任期終了後、1名は引き続き定住。新たな協力隊の募集を継続。	16,238,087		
				H30	2人	△	30年度の隊員数は2名で、年度途中で1名が任期終了となったが、引き続き定住。新たな協力隊の募集を継続。	8,747,510		
	4-7	郷土芸能、芸術・文化の振興	参加者数 150人/年	H27	0人	—	発表団体5~10団体程度、参加者150人程度に向けて内容検討。	0	郷土芸能発表会の開催に向けてのシミュレーション等を検討。	社会教育課
				H28	0人	△	検討	0		
				H29	0人	△	『因幡麒麟獅子舞の会』発足に伴い加入案内・促進を行った。	0		
				H30	294人	○	水口傘踊り保存会、文化発表会等で郷土芸能などの振興を図った。また、『因幡麒麟獅子舞の会』発足に伴い加入案内・促進を行った。	0		
	4-8	八頭町オリジナル教室の開催	参加者数 50人/年	H27	309人	○	芸術家の派遣事業として、2小学校(大江小学校3回・船岡小学校2回)で実施。県事業を活用したことから、経費負担なし。	0	事業について積極的にPRL活用に努める。	社会教育課
				H28	376人	○	「とっとり芸術宅配」事業として、丹比小学校、郡家西小学校が実施。県事業により、経費負担なし。	0		
				H29	250人	○	芸術ふれあい事業として郡家東小学校で『ジャズコンサート』を開催した。	370,000		
				H30	210人	○	芸術ふれあい事業として八東小学校で『ジャズコンサート』を開催した。	384,800		
基本戦略	4-9	地域の中心部における医療機関、商業施設、公共施設等の維持・集約	3地域	H27	3地域	○	保育所・学校など規模等を勘案し、適正な配置に努めた。	0	施設の統合等、整備計画に沿って整備する。	総務課ほか
				H28	3地域	○	保育所・学校など規模等を勘案し、適正な配置に努めた。	0		
				H29	3地域	○	保育所・学校など規模等を勘案し、適正な配置に努めた。	0		
				H30	3地域	○	保育所・学校など規模等を勘案し、適正な配置に努めた。	0		
	4-10 【重点取組】	保育施設的环境整備【再掲】	保育所での多様なサービスの実施	H27	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の地質調査、基本設計業務及び実施設計業務を行った。平成27年度に新規開所した郡家東保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施している。	59,598,000	病後児保育や土曜午後保育など保育サービスの多様化を継続実施すると共に、八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設を行う。	町民課
				H28	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の新築のため実施設計業務及び工事発注を行った。なお新保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施。	735,931,000		
				H29	保育所での多様なサービスの実施	○	鳥取市と連携し、病児保育事業の実施や八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設に係る実施設計等を行った。	27,085,000		
				H30	保育所での多様なサービスの実施	○	鳥取市と連携し、病児保育事業の実施や八東地域の3保育所を統合した新保育所を建設した。	714,941,586		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	各年度の取組・実績等				31年度以降の取組方針	担当課	
				KPI実績	達成状況	内容	実績	内容		
4. 将来にわたり暮らし続けることができる環境をつくる	4-11	訪問看護ステーションサテライト施設の開設	設置数 1ヶ所 利用者数 25人	H27	0ヶ所	△	訪問看護ステーション実施事業者へのPRと開設意向及び空き施設の調査を行い、空き施設の利用希望について他部署と協議した。	0	訪問看護ステーションの事業継続。	保健課
				H28	0ヶ所	△	29年度の開設に向けて、実施予定事業者との協議をするとともに、若桜町との共同設置について協議を行った。 ※ 28年度中は鳥取市内からの訪問を拡充。	0		
				H29	設置数:2カ所 利用者数:114人	○	平成29年7月に1カ所、12月に1カ所開設。訪問看護利用79人、施設利用35人	0		
				H30	設置数:2カ所 利用者数:98人	○	平成29年度に2箇所開設。訪問看護利用77人、施設利用21人)	0		
	4-12	地域の福祉拠点の整備	整備数 12施設(地区)	H27	2施設	○	旧大御門保育所、旧下私都保育所を改修し、地域福祉活動の拠点として整備。	35,054,000	閉所、閉校した保育所や小学校を改修し、地域福祉活動の拠点として整備する。 旧船岡保育所の改修を検討する。	福祉課
				H28	2施設	○	旧たから保育所、旧中私都保育所を改修し、地域福祉活動の拠点として整備。	36,201,600		
				H29	2施設	○	地域福祉活動の拠点として旧大江へき地保育所を改修するとともに、下私都地区福祉施設用駐車場を整備した。また、隼Lab.内に隼地区まちづくり委員会事務所を移転整備した。	24,415,560		
				H30	1施設	○	隼Lab.内に隼地区まちづくり委員会事務所を移転整備した。	2,246,400		
	4-13-①	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	買い物サービス利用者数 9,000人/年	H27	7,988人/年	△	買い物弱者を主な対象者として移動販売を行おうとする事業者に対し、移動販売に要する経費の一部補助を行い、買い物弱者に対する支援を実施。	266,000	買い物支援事業継続について販売業者に働きかける。	地方創生室
				H28	8,062人/年	△	買い物支援事業継続について販売業者に働きかけた。	0		
				H29	7,188人/年	△	買い物支援事業継続について販売業者に働きかけた。	0		
				H30	10,182人/年	○	買い物支援事業継続について販売業者に働きかけた。	0		
	4-13-②	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	タクシー助成登録者数 1,300人/年	H27	982人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行った。	8,251,000	広報等により事業周知を行い、登録者・利用者の増加を図る。公共交通機関での外出が困難なものについて、移動手段の確保を行う。	企画課
				H28	1,126人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行った。	10,316,720		
				H29	1,012人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者等に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行う。	10,624,480		
				H30	1,067人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者等に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行う。	10,290,220		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI		各年度の取組・実績等			31年度以降の取組方針	担当課	
					KPI実績	達成状況	内容	実績		内容
	4-13-③	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	メディア活用支援利用者数 40人/年	H27	21人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。公民館における生涯学習講座において、高齢者向けスマートフォン講座を実施しメディア活用支援に努めた。	0	地域福祉活動では各地区での実施について引き続き働きかけを行うとともに、公民館講座等における活用支援を推進する。なお、高齢者が詐欺等の金銭トラブルに巻き込まれる恐れがあるためネットショッピング講座の実施は困難。別の買い物支援策(日常生活支援等)の検討も必要。	福祉課 中央公民館
				H28	0人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。	0		
				H29	0人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。	0		
				H30	0人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。	0		
	4-14	公共交通体制の見直し【再掲】	公共交通網形成計画の策定(平成28年度)	H27	未策定	△	若桜鉄道(株)の継続的な事業運営を支援するための運行支援補助を行うとともに、安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設の保守管理を若桜鉄道(株)へ委託して行う。また、若桜鉄道(株)の経営改善を図るため、鉄道事業再構築事業の見直しを行った。	130,906,000	若桜鉄道の安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設及び車両について保守管理を着実にを行うとともに、鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づく事業実施を進める。	企画課
				H28	策定済	○	若桜鉄道の安全かつ安定した運行維持を図るため、鉄道施設及び車両の保守管理について、着実に実施した。平成28年3月に鳥取県東部地域公共交通網形成計画を策定。次期鉄道事業再構築実施計画の策定では、関係機関と鋭意策定作業を進めている。	131,760,159		
				H29	策定済	○	平成29年3月に策定した鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づき、若桜鉄道の収支均衡と安全で安定した運行を確保するため、鉄道施設の保守管理を着実に実施するとともに、鉄道利用者の利便性向上を図るため、八東駅への行き違い施設整備に着手。	195,214,659		
				H30	策定済	○	平成29年3月に策定した鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づき、若桜鉄道の収支均衡と安全で安定した運行を確保するため、鉄道施設の保守管理を着実に実施するとともに、鉄道利用者の利便性向上を図るため、八東駅に行き違い施設を整備中。	235,508,093		